



シェードセイル 「デザインと革新」



山口産業株式会社

三角形を組み合わせよう

あなたの街の『日除けがある広場』

フランス発シェードセイル

公園や公共の広場、街のスポットになる建物の周辺で、人と待ち合わせるのに、夏の強い日差しに悩まされたことはありませんか？ 雨に濡れて困ったことはありませんか？ここに屋根やひさしがあればいいなあ！なんて思うこともしばしばありますね。シェードセイルは、重い鉄骨、梁、柱を必要とせずに、マストとファブリックだけで日除けや雨除けを作る、**最も軽量かつシンプルなソリューション**なのです。

船の帆からヒント

シェードセイルとは、その名の通り、「船の帆を模った日除け」のことです。帆船は、帆を張ることで風を受け大海原を走ります。元来「帆」そのものが風や日差しに強くなければ機能しません。シェードセイルも同様です。「ファブリックにテンション(引っ張る)を掛ける」ことで面を作り、日差しを受けます。風や日差し、紫外線や空気中の汚染物質に晒されても平気なのが、このシェードセイルなのです。

シェードセイルは三角形が基本になっていますが、三角形を複数組み合わせることで、より大きな面積をカバーすることができます。また、山口産業独自の先端金具を使えば、四角形、六角形、その他の多角形を構築することができます。

紫外線と風圧

シェードセイルに使用されるファブリック(生地)は、季節を問わず、年間を通して晒される風圧と紫外線に強くなければなりません。一般的に使用されるファブリックは、ポリエステル糸で織った基布に樹脂をコーティングしたものが多く使われます。樹脂をコーティングすることでポリエステル基布を紫外線やその他の外圧から保護し、耐久性を高めています。

高耐久高機能ファブリック

さらに、山口産業が採用しているファブリックはフランスの **SOLTIS シリーズ** (SERGE FERRARI 社) のファブリックです。シェードセイルをはじめオーニング、日除け、キャンピーなど多用途に使われている汎用度の高い、高耐久・高機能ファブリックです。風圧や紫外線は勿論、退色にも強いファブリックです。

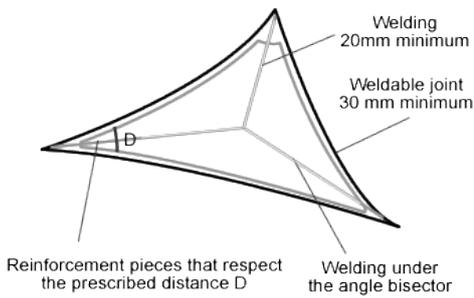
中心のマストから三角形を複数組み合わせることで大きな面積を作って、広場や待ち合わせ場所に日除け雨除けを作ることができます。



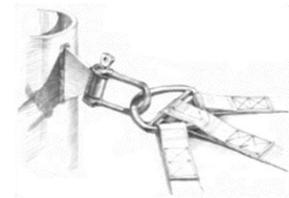
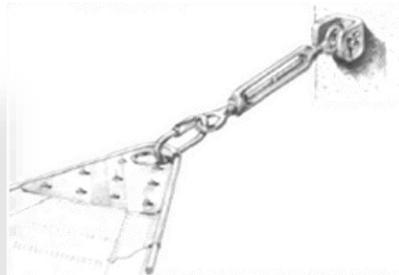
えぐりのデザイン

シェードセイルのファブリック端部は、カーブをつけてえぐりを出しています。各辺が直線の三角形よりもファブリック全体にテンションを掛けやすく、何よりも流線型のデザインは目を惹きます。カッコよくオシャレで、また辺に当たる風を切る役目もあります。えぐりは、その人の個性も表し、各人各様にえぐり率を決められますが、一般的に辺の長さに対して、5%~15%が目安となっています。

えぐったファブリックの端部は、引裂き防止のために二重三重に補強がされているため、風が吹いても安心です。



1辺の長さが約1.0mの2等辺三角形のシェード。黒っぽいメッシュファブリックが「涼しげ感」を映します。ポールはあえて四角形で安定感を出しています。



パーツ金具

パーツはすべてステンレスなので錆びにくく、メンテナンスが容易です。

ターンバックル

ターンバックル、リング、留めピンなど屋外で使用するパーツは、基本的にステンレス製を使用することをお勧めします。

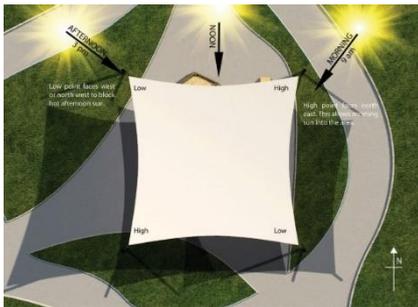
シェードセイルの頂点の一方所または二カ所には、ターンバックルが付いており、現地でのテンショニングの微調整がいつでも行える仕組みになっています。テンショニングが上手く効いていないと、ファブリックは弛み撓みが起こり、風によるバタつきが起こります。これは、ファブリックの劣化、引裂けの原因となるためシェードを張る際はしっかりとテンショニングを行う必要があります。



太陽の向きとデザイン

太陽が東から出て、南、西へと向かう「方角」と、春夏秋冬の式による「傾き」を考えながらシェードセイルの配置と向きを考えます。シェードセイルには一年中、及び一日中のすべてをカバーする配置と向きはありません。使用目的と状況に応じて、一番適切な配置と向きを考えればよい訳です。

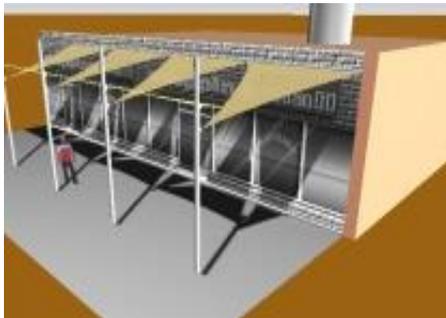
例えば、店舗やレストランであれば、開口部が南に向いているのであれば、太陽の真夏の南に位置するのはほぼ真上にきますから、シェードセイルのファブリックの向きは、少し傾きを付けてあげるだけで直射日光を長時間避けることができます。また、開口部が西に向いているのであれば、西日はほぼ水平方向から来るのが不快ですから、ファブリックは大きく傾きを付けてあげた方が良いでしょう。ここで重要なのは、シェードセイルの目的をしっかり持つことが重要です。家族が戸建て住宅のテラスで午後のコーヒーを楽しむという目的が主であれば、午後の太陽の向きを中心に考えれば良いでしょう。レストランであれば、西側の席が避けられがちなので、西に傾きを付ければ良いでしょう。使用する頻度が多い時間帯を考慮しても良いでしょう。



南に向けたテラスに。雨の流れを良くするために、傾斜角は少しだけ付けています。ファブリックは沿岸でも大丈夫。



中庭や吹き抜け部分にこんな風に使うと、オシャレな空間ができます。影を作ることで覗き見防止にもなります。



レストラン、カフェ、店舗の西側開口部に深い角度を付けて西日を遮ります。ちょっとしたファサードにも見えます。



公園、広場、休憩場所に。ベンチのカラーとコントラストを付けたカラーをチョイス。人が集います。



シェードセイルは、三角形を基本として複数個組み合わせることで陽をカバーする面積を大きくできます。組み合わせのパターンは最もお気に入りのデザインと、太陽の向きと傾きを考慮して考えます。できるだけマストの本数を少なくしたい場合もパターンで決めます。



シェードセイルは、三角形を基本として複数個組み合わせることで陽をカバーする面積を大きくできます。組み合わせのパターンは最もお気に入りのデザインと、太陽の向きと傾きを考慮して考えます。できるだけマストの本数を少なくしたい場合もパターンで決めます。

山口産業の【Ultra T】

シェードセイルはデザインも重要ですが、もっと重要なのはディテールです。個々の部品とファブリックが雨風、紫外線、大気中の有害物質に年中晒されても十分に耐えることができなければシェードの機能を発揮できません。山口産業が独自に開発した先端金物【Ultra T】は、様々な外的な圧力に高い耐久性を持っており、ステンレス合金による耐久性とメンテナンス性によって10年の耐久性を誇ります。パーツのデザインもシェードセイルにふさわしい美しい仕上げになっています。



営業所

- 東京営業所 ☎03-5839-2678
- 仙台営業所 ☎022-346-7531
- 北九州営業所 ☎093-967-3517
- 福岡営業所 ☎092-957-7580

山口産業株式会社

本社 佐賀県多久市多久町
3555-120

www.yamaguchi-kk.co.jp

☎ 0952-74-2525

Fax 0952-74-2527

シェードセイルについて

製品についてのお問合せは、本社および最寄りの営業所までお尋ね下さい。